

計画事業番号	00139	事務事業名	住宅改修介護サービス事業	担当部署	保健福祉部 高齢者支援課	電話	2163
--------	-------	-------	--------------	------	-----------------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等	北広島市住宅改修支援事業実施要領			
事務事業開始年度	平成12年度		個別計画等	北広島市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	特別会計	補助単独区分	補助	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 1 章) 支えあい健やかに暮らせるまち						
	(第 5 節) 高齢者福祉・介護の充実						
	(施策 3) 介護サービスの充実						
2 対象	居宅サービス計画等を作成する介護支援専門員及び地域包括支援センターの担当職員のほか、市が行つ福祉用具・住宅改修支援事業等として、住宅改修についての相談、助言等を行っている福祉、保健、医療又は建築の専門家						
3 目的と内容	介護保険の介護給付および予防給付における住宅改修を円滑に進めるため、介護支援専門員(ケアマネジャー)業務のうち、介護報酬に対応していない住宅改修の申請書に添付する理由書作成業務に対して手数料を支払う。						
4 実施内容(手段)	28年度まで	居宅介護(支援)住宅改修費の支給申請書に添付する理由書作成業務について、1件当たり2,000円の手数料を支払う。					
	29年度	昨年度と同様であるが、居宅介護(支援)住宅改修費の支給申請書に添付する理由書作成業務について、1件当たり2,000円の手数料を支払う。					

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
理由書作成に対する手数料	100件×2,000円 =200,000円	理由書作成に対する手数料	理由書作成に対する手数料	理由書作成に対する手数料

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。	
1次評価	現状継続	現状継続とする。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

「拡大」
「現状継続」
「要検討」
「見直し」
「統合」
「休止・廃止」
「終了」

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			200		220		300		300	
事業額	直接事業費	国支出金	78		86		117		117	
		道支出金	39		43		58		58	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	39		43		58		58	
		一般財源	44		48		67		67	
	① 合計	200		220		300		300		
額	人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00
		③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500
		④ =②×③	840	0	840	0	840	0	840	0
総事業費①+④			1,040		1,060		1,140		1,140	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
活動指標	① 住宅改修実績	目標値	件	250		250		250		250	
		実績値		282							
	② 手数料支給実績	目標値	件	100		100		100		100	
		実績値		100							
③	目標値										
	実績値										
④	目標値										
	実績値										
成果指標	①	目標値									
	【指標の定義(算式等)】	実績値									
	②	目標値									
【指標の定義(算式等)】	実績値										
③	目標値										
【指標の定義(算式等)】	実績値										

【評価項目】

チェック項目		評点	コメント
妥当性	・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	住宅改修事業の円滑な推進に寄与しており、妥当である。
達成度	・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	住宅改修事業の利用に結びつき、重度化の予防や在宅生活の継続に成果があがっている。
成果向上	・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	住宅改修は介護保険制度の中で確立しており、本事業は制度でカバーし切れていない部分を補完するものである。
経済性	・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	介護サービスの利用に際し、ケアプランを作成する場合は介護報酬が給付されるが、サービスを利用しない場合には給付されないことから、1件につき2,000円の支給は妥当であると考えられるので、削減の余地はない。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり <input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	--

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--